

日本原子力発電株式会社  
社長 鷲見禎彦 様

# シュラウドひび割れ隠しに抗議し、情報公開と 敦賀3・4号炉増設計画の撤回を求めます

若狭連帯行動ネットワーク

貴社の敦賀1号炉で、1994～1996、1998年の自主検査でシュラウド本体に百数十カ所のひび割れが超音波探査などによって見つかったにもかかわらず、国へ報告していなかったことが9月25日判明しました。ひび割れは、最長457mm、最大深さ19mmという大きなものでした。1994～1999年の間、ひび割れを知らながら放置したまま運転し続け、電気事業法で定める技術基準に適合していなかった可能性があります。原子力安全・保安院の分類による最高のAランク（法令違反の疑い）に相当します。しかも、1999～2001年のシュラウド交換作業中に、シュラウドサポートに300ヶ所に及ぶひび割れを「発見」し、報告・修理しながら、交換される本体のシュラウドについてはひび割れを隠していました。これは意図的と言わざるを得ません。ここに強く抗議します。

シュラウドサポートについても、その前2回の定期検査期間中に水中カメラで検査しながら、「異常なし」と報告されていますが、本当かどうか極めて疑わしいと私たちは考えています。トラブル隠しを行うような電力会社には危険な原発を運転することは断じて許されません。

緊急に以下の申し入れを行いますので、真摯に対応して下さい。

1. 貴社によるシュラウドのひび割れ隠しの実態について、点検生データ、委託先の検査記録、貴社内の検査記録、現品写真をすべて公開して下さい。ひび割れをなぜ国に報告しなかったのか、東京電力のように社内でルール化されていたのか、その責任体制を明らかにして下さい。シュラウド以外にも、シュラウドサポートや予防保全で交換したすべての機器について国に報告のないひび割れ等のトラブルがないかどうか、県職員や第三者機関の立ち会いの下に徹底した検査を行って下さい。総点検結果について公開説明会を開いて下さい。
2. 敦賀2号炉についても、直ちに運転を停止し、総点検を行って下さい。
3. 貴社の歴代会長、社長、取締役には東京電力の役員や原子力発電所長が多く就任していました。ひび割れの報告を受けながら報告しなかったことがないかどうか、退職者を含めて貴社の役員に就任したすべての東電関係者に対する調査を徹底的に行い、調査結果を公表して下さい。
4. 貴社においても「原子力安全文化」が崩壊していたことを反省し、県民と国民に謝罪して下さい。また、総合学習の時間の資料として小、中、高等学校に配布している原子力推進教材をすべて回収し、誤った宣伝を行ってきたことを率直に認め、反省して下さい。
5. 敦賀3・4号増設の事前了解願いを取り下げして下さい。増設を断念して下さい。

以上